

# 南房総地域における草地環境の生態系の把握とその多面的機能の普及啓発活動

〒296-0232  
千葉県鴨川市平塚540  
電話:04-7099-9050  
E-mail:info@senmaida.com  
http://www.senmaida.com/



ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



草地環境の生物相の観察会と調査

体験参加者数	31人
指導者養成数	16人
今年度計画の達成度	80%
活動の全体目標に対する達成度	70%

## 課題

さまざまな希少生物が生息する草地環境であるが、草地の利用価値の低下や、管理の停止により荒廃している。また、荒廃した草地の増加により鳥獣被害も増えている。

## 目標

荒れた草地に新たな価値を見出し、活用され、さまざまな草地性の生物が生息する環境が形成される。

## 活動内容と成果

1. 観察会形式での生物調査 31回実施 1,608名参加。
2. 地域の酪農文化や草地の多面的機能の勉強会 3回実施。
3. 調査結果をまとめた冊子の作成 3,000部。

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

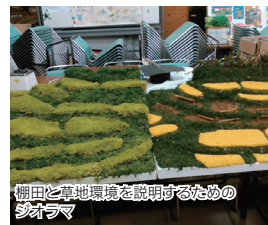
雨天時の観察会をどのように実施するか、どのように棚田の草地環境と生物多様性について室内でも伝えるか悩んだ。

### ■ 工夫した点

写真と生物の展示で行っていたが、棚田のジオラマを作成し、見た生物がどんな環境に生息しているか立体的に解説できるようにした。



4. 3回の体験プログラムの開発と実施。
5. 2回の指導者講習会の実施  
10集落16名参加。
6. 草地の管理計画の検討。



棚田と草地環境を説明するためのジオラマ

## 今後の展望

地元農家とともに、移住者も巻き込み、里山環境の再活用や生物相の保全を行っていく。当会に関わる大学生や都市住民と連携し、棚田と周辺の草地や竹林の整備を行っていき、草地の活用についてさらに検討していく。